



にゅーすれたーふじやま・長泉



2012. 2

日本列島に寒気！ パナソニックエイジフリー介護チェーン

降雪地帯は6年ぶりの大雪に襲われ、雪降ろしをする高齢者の事故が多発しています。先日、高齢化率4割の村を豪雪が襲い難渋しているニュースが流れました。84歳の女性が雪下ろしをしている姿は見るに忍びません。昨年地震で被害を受けた地域ではまだ仮設住宅に住んでいるにも関わらず今回の豪雪は残酷です。自然の猛威に何もできない私たち人間の脆さを思い知らされる2011年～12年です。因みに新潟では積雪高さ280cm重さは1㎡あたり350kgだそうです。これから益々過疎化と高齢化は進む一方です。雪が降っても困らない方法はないのでしょうか。

寒冷地の方には申し訳ありませんが、太平洋に面した静岡はどんなに寒くても私の記憶では0度以下にはなったことはありません。しかし2月3日の朝7時台の外気温は-3℃(車)を示していました。びっくりしました。それとは裏腹に富士山のきれいだったこと。。。建設中の小社富士見工場から見る富士山は格別でした。古くから信仰の対象として崇められてきた富士山が現在の形になったのは約1万年前だといわれています。山頂を目指す登山者は年間20万人で3割が外国人だそうです。特に今の時期(1月～3月)は積雪も増え晴天に恵まれ最高です。4月には田貫湖で日の出にのみ見えるダイヤモンド富士が至高です。この地に生まれ育った私は幸せ者だと感謝しています。静岡県は富士山憲章の理念に基づき2月23日を「富士山の日」～美しい富士山を後世に～に制定しました。今年の世界遺産登録への道筋も付いたのでいくつかのイベントがあるようです。私は20歳の頃友人の家で経営する「室(むろ)」でアルバイトをしました。しかしブルドーザーに乗って登ったせいか高山病になり、ダウンして残念！(自分の足で登ったときには大丈夫でした)でも彼女のお父さんは優しくずっとベッドに寝ていた私にアルバイト料を払ってくれました。今でも申し訳なくいい思い出となっています。その彼女にはNPOの仲間として活躍してもらっています。彼女が結婚して住んだ札幌に雪祭りを見に行ったことも懐かしく思い出されます。渡邊啓視

ピザで食育「ピザ焼き体験会を開いて」



友人やその子供を呼んでピザ焼き体験をしてもらう際、手洗いをして自分の手で生地を薄く丸く伸ばすことからしていただきます。もちろん上手くできません。打ち粉をしないと、のし台に貼り付いてしまったり歪な形になったり。。。でもその思い通りにいかない所が楽しいんです。私はほとんど手を出しません。自分で試行錯誤しながらやることに意味があると思うからです。生地にピザソースを塗り、トマトやチーズ、パプリカ等をトッピングすることも好きなようにしていただきます。なかなか彩豊かなピザが出来ます。長い柄の付いた焼き網に乗せてピザ窯の中で焼くのですが、薪を燃やし2時間かけて400度近くまで熱くなっている窯の中では2分ちょっとで焼けてしまいます。その時も釜の入り口から焼けていく生地の様子グツグツと溶け出すチーズを確認してもらいながら自分で焼いてもらいます。焼き上がったピザはその場にいるみんなであツアツのうちに切り分けて食べます。大人と子供がお互いのピザをあーでもない、こーでもないと言い合いながら食べ、自然と笑い声が聞こえてきます。そんな時ピザ焼き体験会を開いて良かったと感じます。3月以降の日曜日にピザ焼き体験会を開催します。

参加ご希望の方はふじやま店までお問い合わせ下さい。 ふじやま店 高橋 康



高橋さんのお家にて